



熊野町立熊野第一小学校
令和5年11月9日
校長 水戸 美穂子

くまいち四季折々

熊一小には秋を感じられる場所がいろいろあります。南校舎の階段には1年生がつくった「秋」が掲示されています。「秋」の中には赤とんぼ、くり、かき、もみじ、さつまいも、・・・色とりどりの秋がたくさん集められています。また、たんぼぼ2組の教室の前には、子供たちが落ち葉を集めて作成したみのむしたちがたくさんいます。落ち葉の色も同じ茶色ではなく微妙に濃淡の違いがあり、それらが組み合わせあって、とても味のあるかわいいみのむしが出来上がっていました。すすきも添えて秋の雰囲気いっぱいです。校舎内を歩くたびにほっこりしながら秋を感じています。



「表現力」のキャッチコピーを作りました！

熊一小学校が、今年度子供たちに付けたい力として特に力を入れているのは「表現力」です。「子供たちの意識をもっと高めていきたい」「みんなで目指す姿を具体的に共有したい」と思い、教職員のアイデアを基にキャッチコピーを作り、全校朝会で発表しました。そのキャッチコピーです。

「伝える」「受け取る」思いのバトン

～ねえねえあのね うんうんそれで～

朝会では、まず、子供たちと「バトン」について考えようと6年生がリレーをしている写真を提示し、リレー選手の子供たちからバトンを渡す時や受け取る時に気を付けていることを話してもらいました。すると「バトンがちゃんと渡せるように相手の手の中に確実に置くようにする。」や「もらったバトンをしっかり持って走る。」と教えてくれました。また、その時「しっかり走るぞ。」と「任せたぞ。」という渡した相手の思いも受け取って走るとも話してくれました。



これと同じように自分の考えや思いを伝えるためにはバトンが落ちないようにお互いに相手を思い合いながら、伝えたり、受け取ったりすることが大切であること、伝える方も受け取る方も思いのバトンがちゃんと伝わるように工夫する必要があることを話しました。

子供たちが自分の考えや思いをどうにか伝えようと工夫する力やその思いや考えを理解しようとする力を育て、前のめりになって「伝える」「受け取る」子供の姿が見られる熊一小を目指しています。

11月18日(土)の学習発表会は、子供たちが自分の思いや考えを伝える「表現力」を発揮する絶好の機会です。伝える相手に思いをはせて、どんな姿を見せてくれるのか楽しみです。

芸術鑑賞教室について

10月17日に低学年の部と高学年の部に分けて、芸術鑑賞教室が行われました。普段は体育をしている体育館が、この日はコンサートホールになったようでした。素敵な打楽器の演奏に、子供たちの目と耳と心がくぎ付けになっていました。



熊野町高原ブロック体育記録会について

10月25日に熊野町内小学校4校の6年生が、体育記録会を行いました。熊一小の代表として、標準記録を突破した32名が、他校と競い合いながら自らの記録に挑戦しました。全力で競技する子供たちや、友達の頑張りに精一杯の応援をする子供たちの姿が素晴らしかったです。そして、橋本琉生くんが、走り幅跳びで478cmの大ジャンプ!昭和62年から破られることがなかった記録を塗り替え、大会新記録で見事1位になりました。おめでとう!



野外活動について

10月26日と27日に、5年生が国立江田島青少年交流の家で野外活動を行いました。オリエンテーションやキャンプファイヤー、野外炊飯(カレー作り)などの様々な体験を通じて、役割に責任をもつことや仲間と協力して物事を考え行動することを学びました。「5年生の大切な時間 最高の思い出～人任せにせず協力し行動する～」のめあてがしっかりと達成できた野外活動でした。

